

会議コントローラで制御されている TelePresence Server 上での HTTP または HTTPS サービスの無効化

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[HTTP および HTTPS サービスを無効にする](#)

概要

このドキュメントでは、会議コントローラによって制御されている Cisco TelePresence Server で、HTTP および HTTPS サービスを無効にする方法について説明します。

前提条件

要件

Cisco TelePresence Server について十分に理解しておくことをお勧めします。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco TelePresence Server に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

HTTP および HTTPS サービスを無効にする

制御されているデバイスの HTTP および HTTPS サービスを無効にする前に、会議コントローラと、会議コントローラが制御する Cisco TelePresence Server 間の関係をすべて無効化しておく必要があります。次の手順を実行して、会議コントローラと Cisco TelePresence Server 間の関

係を無効化し、HTTP および HTTPS サービスを無効にします。

1. 会議コントローラの Telepresence Server にログインし、[TelePresence Servers] > [サーバ名] > [Configuration] と選択します。
2. [Enable] チェックボックスをオフにし、[Update Telepresence Server] をクリックして、接続を無効にします。
3. 制御されている Telepresence Server にログインし、[Network] > [Services] と選択します。
4. HTTP および HTTPS サービスを必要に応じて無効にします。あるいは、シリアルコンソールで接続し、**service 0 http disable** コマンドを入力して、ポート A の HTTP を無効にします。